



Title	表紙, 目次, プログラム, 参加者紹介
Citation	「観光創造学を考える」研究会録 / 北海道大学観光学高等研究センター共同研究会「観光創造研究会」設立準備会, 2-4 北海道大学観光学高等研究センター共同研究会「観光創造研究会」設立準備会, 「観光創造学を考える」研究会録. 2013年11月23日, 24日. 北海道大学遠友学会.
Issue Date	2014-07-01
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/56571
Rights(URL)	http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	other
File Information	00contents.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学観光学高等研究センター共同研究会

「観光創造研究会」設立準備会

「観光創造学を考える」 研究会録



◆目次

開会にあたって～センター長挨拶	3
プログラム	4
研究会参加者（共同研究員紹介）	5
研究発表	6～143
1 石森 秀三	観光創造学へのチャレンジ ※研究会録には非掲載
2 西山 徳明	観光創造学体系化の試みと CBT/PPP 再考
3 敷田 麻実	地域資源戦略と観光交流による都市・田舎関係の再構築
4 宮下 雅年	現代社会と故郷 ～樺太『故郷』探訪ツアーにおける新しい『故郷』の像
5 山村 高淑	Japanese Contents Tourism and Pop Culture ～国際共同研究の立ち上げと今後の課題
6 池ノ上真一	観光を基軸とした地域のソーシャル・イノベーション
7 清水賢一郎	旅の時間論への助走
8 西川 克之	観光と近代～英国を例にとって
9 山田 義裕	観光創造の他者論～「他者との出会い」の観点から
10 白井 冬彦	観光立国時代の観光の六次産業化と必要人材
総合討議	144～162
資料発表	163～180
11 内田 純一	日本の観光地域はサービス・イノベーションを創出できるか ～ディステイネーション管理論と サービス・イノベーション研究の統合に向けて

◆開会にあたって～センター長挨拶

観光創造研究会は、北海道大学観光学高等研究センターが主体となり、日本における観光研究のさらなる発展を目的に開催するものです。

今回は、2013年度中に開催予定の第1回研究会に向けての「準備会」という位置づけです。2日間にわたって、北海道大学国際広報メディア・観光学院の観光創造専攻で教鞭をとる先生方から、日頃の研究と観光創造学への貢献をテーマにしてそれぞれ発表いただき、2日目の最後には総合討議の時間を設けました。この討議の時間で、今後の研究会の進め方について議論したいと思います。その内容は、研究会の名前はもちろん、どのようなテーマで今後の研究会を展開していくか、どのような開催形式にするべきかなどです。

この研究会には雛形となるものがあります。1999年度から2008年度の10年間にわたって開催された「国立民族学博物館における共同研究会」です。合わせて39回開催されて、最初の3年間は石森秀三先生が座長を務められ、後半の7年間は私、西山が引き継いで客員教員として座長を務めました。日本中の観光に関連する研究者が一堂に会し、民博を舞台にして、あるいは南大東島、萩、白川郷などに赴いて、研究会を開催してきました。この10年間は、日本においては従来型にない観光研究が大きく展開されましたが、その中心に民博の研究会があったのではないかと考えております。その成果は、幾冊もの民博の調査報告書として著されています。本研究会は、基本的には民博の研究会を発展させる形で、場所を北海道大学という地に移し、日本の観光研究の中心として発展させていきたいと考えております。第1回研究会以降は、さまざまな研究者にご参画いただく予定です。なお本研究会には、北海道大学国際広報メディア・観光学院の博士課程の学生も共同研究員として参加しています。

各研究発表については、発表時間を30分、質疑応答の時間を15分設けています。質疑応答については、事前に指名させていただいたコメンテーターの方にコメントを短めに頂いた後で、残った時間でフリー・ディスカッションとしたいと思います。また、本日は北海道大学観光学高等研究センター准教授の内田純一先生がやむをえない事情で欠席されていますので、資料発表とさせていただきます。コメントについては、学外からお越しいただいている、小林天心先生、真板昭夫先生、そして小林英俊先生から中心的に頂きます。

非常に盛り沢山な中身ですが、今後の観光創造研究と、本研究会の発展のために、皆さまどうぞよろしく願いいたします。

北海道大学観光学高等研究センター長
西山徳明

◆プログラム

11月23日(土) (1日目)	13:15	開会挨拶と進行説明／共同研究員紹介	西山徳明
	13:30	観光創造学へのチャレンジ	石森秀三
	14:20	観光創造学体系化の試みと CBT/PPP 再考	西山徳明
	15:10	地域資源戦略と観光交流による都市・田舎関係の再構築	敷田麻実
	15:55	(休憩)	
	16:10	現代社会と故郷 ～樺太『故郷』探訪ツアーにおける新しい『故郷』の像	宮下雅年
	17:00	Japanese Contents Tourism and Pop Culture ～国際共同研究の立ち上げと今後の課題	山村高淑
	17:50	観光を基軸とした地域のソーシャル・イノベーション	池ノ上真一
	19:00	懇談会 (於 遠友学舎)	
	11月24日(日) (2日目)	9:00	旅の時間論への助走
9:50		観光と近代～英国を例にとって	西川克之
10:35		(休憩)	
10:50		観光創造の他者論～「他者との出会い」の観点から	山田義裕
11:40		観光立国時代の観光の六次産業化と必要人材	臼井冬彦
12:25		(昼食)	
13:30		総合討議「観光創造学と観光創造研究会のあり方について」	
15:00		総括／散会	

◆研究会参加者（共同研究員紹介）



西山徳明

北海道大学観光学高等研究センター
教授
専門：建築・都市計画、文化遺産
マネジメント、観光開発国際協力



敷田麻実

北海道大学観光学高等研究センター
教授
専門：資源戦略論および地域ガバナンス



山村高淑

北海道大学観光学高等研究センター
教授
専門：コンテンツ・ツーリズム論、
観光開発論



白井冬彦

北海道大学観光学高等研究センター
特任教授
専門：観光ベンチャー、地域起業



内田純一（資料発表）

北海道大学観光学高等研究センター
准教授
専門：観光マーケティング、
地域ブランディング



池ノ上真一

北海道大学観光学高等研究センター
特任准教授
専門：地域イノベーション論、
地域計画論



宮下雅年

北海道大学メディア・
コミュニケーション研究院 教授
専門：北米地域等の地域文化研究



山田義裕

北海道大学メディア・
コミュニケーション研究院 教授
専門：メディアと
コミュニケーションの研究



西川克之

北海道大学メディア・
コミュニケーション研究院 教授
専門：社会文化学的観光研究



清水賢一郎

北海道大学メディア・
コミュニケーション研究院 准教授
専門：旅の思想論、中国メディア
社会文化（史）研究



石森秀三

北海道開拓記念館館長、北海道大学
観光学高等研究センター特別招聘教授、
北洋銀行顧問
専門：観光文明論



小林天心

亜細亜大学経営学部ホスピタリティ・
マネジメント学科教授、北海道大学
観光学高等研究センター客員教授
専門：国際観光論、観光マーケティング論



小林英俊

北海道大学観光学高等研究センター
客員教授、財団法人日本交通公社
シニア・V・フェロー
専門：観光原論、観光マーケティング、
エコツーリズム、CBT



真板昭夫

京都嵯峨芸術大学観光デザイン学科教授
専門：資源管理論、エコツーリズム論、
地域開発論



杓谷茂樹

中部大学国際関係学部国際文化学科教授
専門：マヤ遺跡観光における
イメージの生産と消費



遠藤 正

北海道大学観光学高等研究センター
客員准教授
専門：地域ビジネス、
スポーツツーリズム



花岡拓郎

北海道大学観光学高等研究センター
特任助教
専門：キュレーション論（博物館学）



麻生美希

北海道大学観光学高等研究センター
特任助教
専門：都市計画、特に世界遺産や
景観のマネジメント



松本秀人

北海道大学観光学高等研究センター
学術研究員
専門：観光文化論、図書館情報学



大迫理沙

北海道大学観光学高等研究センター
学術研究員
専門：観光社会学
（労働と余暇の視点を中心に）



高松郷子

北海道大学観光学高等研究センター
学術研究員
専門：パラスチナにおけるCBT、
観光と平和



石川満寿夫

北海道大学観光学高等研究センター
研究員
専門：観光資源としての農林水産業の
付加価値創造



平 侑子

北海道大学国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻博士課程
専門：観光文化論（動物園研究）



鎗水孝太

北海道大学国際広報メディア・観光学院
観光創造専攻博士課程
専門：観光人類学、
コンテンツ・ツーリズム論